73
6628
4

地方凡戒録卷之三

撿地之部　上

長地地押　影田開墾石盤手代田畑益目
流作結見帳等

凡三十九ヶ条

門 ワ 3
號 6628
巻 4

早稲田大學圖書館
昭28.2.23入
藏書

地方凡成録巻之三

○検地之事

附長検地之事

水帳発之事

古来検地所役図之事

新田検地市役図之事

検地ハ古地絵図と改正ハ地名ハ田畑平地と
八反川と改ハ古地の法と申ハ畝と云ハ田
畝歩民の出高世の法を事と共に事なる
人夫ハ百人ハ江戸ハ一人ハ先代行の事と後の事ハ一反
一歩田畑高ハ地ハ畝と云ハ銀拾貫と云ハ
田畑ハ二毛ハ武蔵ハ畑ハ
畑ハ田ハ畑ハ
方ハ田ハ
業と時ハ
の中ハ
公道ハ

租税を摩して如何の損を患とする時ハ必ず災となるべし
其昔井田の法有といへども聖代遠く隔りて
百代の末に移る其事を用る事能はず故に田地
百姓の地割をなさんと天下に押及し検地徴税の由を定
然るに一百姓の村三ヶ所の如何を調ぶる事三千由之内の其本旨
武家百姓の年貢を勤る事古今の通法也其余りを
百姓家数六割人数三十人余の治世となる其割法ハ地面
然るに二百間四方を一村として其内にて百姓屋敷を立
畔畦を分け堤様其地割せられば田畑町畑六反宛に配分
六反を百姓に分ち六反余の割 他田十町の内を加ふ
此二百間を上田弐町歩 中田二町歩村備り田弐町歩
として其を三に分けて法と云 其中の角を屋村とし 百姓一軒に
三反歩を田とせる 下家の庭地を是反下 萩畝を是反下 上畑の
様り其村に配剰するの如事 山の下に山野其附ある
村或ハ地々入会し 田畑林有しに 此田一定大金二三両々
法を立てゝ如此に其事を定めたれば其うへを考るべし
一 百姓ハ上田を持る 穀を是れ是反を三百也二割を徴して
二百四斗 文米徴して 是を取斗 是上田の百姓十二也

二分取りにて中田十分田八分畑ハ中田の催じ 十分にしる
百姓ハ二割徴するハ秕出を除すと雖も其徴税に於
而して正味の内二割徴するを種代の下米等の事に
検毛二割の残り正税の内二割にて 百姓を扶る
なるゆへ而成米年貢百姓の負擔となる 稲田米服衣
悪無き事なれば 率亦を用るハ大数の目当也で
當上ハ其地の事三等無用水の利肥養収納の勝手等
常の考合して百姓を救る事なり 春法穀定年の
村ハ上々なれば中の村を以て準じて極べし 洪文租税
以て百姓と睦れハ仁の恵心の御主ども上村も年貢ハ
凡そ其収穀八分なりの村方ども平均三百ある時ハ凡て
三万三千米百姓米を除き六斗米にて 睦り米三十の存する
百姓の年貢ハ余りの内より一村々其国にて何れも是を立る
是ハ村平均凡米百石と見て此使米六十石の内百姓
六割凡人数三十人の扶持方米年中に取り十二石
以てしれ治世其以姓りて是と農民の命を盛武
家を養ひの那穀菓大根等之を衆民の常年に食取扱
持方の様に余極余りて又田畑雑穀も始まると云ふ

是迄古地面数村々にも検地の帳もなければ一ヶ月として
村々の本役百二三十石より百二三石迄の高に農具入用ハ何れ
の村方にも農業の外男女の稼を立る事叶ひて其の
訳ありて地頭ハ軍役同前百姓ハ渡世を国郡相勤めずし
御座る検地ハ仕方を定め役儀を重くして検民の利なし
あれバ国家乱る三ヶ国窮の基となる事甚だ
出来れバ検地ハ古法にて今の検地ハ
正徳の御條目有て古法の三ヶ条依て御用ゆる事なり
検地ハ大名方の重を合て万民渡世安堵よ
掲る所の旨を能く守て新田畑ハ検地
古田畑弐度ッヽ検て地広く地狭く高弐歩を以て並なり
川欠山崩の地ハ其多く成るゆへ田の帳へ入てし
新地を以て村方へ取るゝの後検地地の石
定お後て其一反広く地狭く村方に地頭ハ無構
不残当り無し検ハ字分の竿を用ふるのは
田畑ハ歩とハ壱尺内一歩と定る也上古ハ度量
御よりハ大小の二種ありて田地東西を計るハ大尺
尺を用ひ長し度を定るありハ壱尺壱寸の竿を用て

壱尺と凡二寸ほど違ひ有も尺ありてハ壱尺の違ひ別今の
六尺四方なり大尺の尺ありハ小尺の六尺中にて同数なれども
渡世にて大尺小尺の混ありのをかくし取なき程に稼然
ある六尺四方を壱歩と作して地をなれども古来より六尺四方
を壱歩と混ずる事も何迄は尺をもの差の有べき筈なれ
混ずるを
御当代御検郡壱畝とを壱分と加る道理にて六尺
壱分の間竿を用る元禄以来の検地ハ六尺壱寸或ハ壱
寸を用る也世俗十間は今も上方御料国古検の
村々ありハ六尺壱寸四方を壱歩と定る村多けれども
検地ハ上方筋河内の古検とも評するいかなし
早来古代の検地ハ到る地廣く成り候ふと尺人ありて
古人ハ壱歩を竿るありハ六尺壱歩て検なれバ竿地と竿
を壱丈二尺余りして大小の事を混て其場を地を見て
打所の地より替り大概二尺壱寸混とも其も知し
六尺壱寸を続して算法に依て段を数を知たハ地
御六尺のみ二寸迄を差も有べくそれより古来まで
三尺の竿を制し用る事もなり壱を渡世より六尺壱寸

以前を常とせしを有りと云但通用あらぬし布帛丈量家
他にある年は六尺壱寸或ハ六尺二寸を用ひ其を京尺
と云京尺半分を田舎尺とて一田畝にも六尺四寸也とする
事は諸書にも見え中頃上古より事なり度量周之
代とは井田にて一歩方も六尺四方を一歩と定むる
とは見えたり出世にても其尺は長短あり今　和朝の周
所の曲尺は高尺として殷の世の尺なり中華にて唐の
を用ひ今猶漢代周尺なる夏の尺は曲尺にて八寸
六分二厘余周尺は六寸六分六厘余なり周尺は高尺
を用ひ八六尺四寸を一歩とあるを古今の通法なり然るに
古法の勝手方の中後へく六尺五寸或は六尺三寸を
検地と云は民へ申しと云文禄年中は太閤の事なれど
手持と中後に致して古田の分も積るべし往古の
一歩は三百六十歩ありと云故に反数多く成る事有る文
文禄年中に三百歩にて一反と極めし事以来八年一年三百六
十日の割一日を一歩の分として五反の米を取る也六尺五寸は竪法の勝手を
以て三百六十歩を一反として極りあるは惣体に応ぜし程
の事なれども見へて田数三百六十歩と改め

孝徳帝の御宇大化年中田長九十歩広十二歩
為段と定め町に是を以ても又検地
方も六尺を以て是は遂後世の事にて検地方に
割と有高をまし三百六十歩一日を以て一歩として諸人へ
渡合し後又其に文禄年中秀吉公の仰令
諸国検地の時に六尺三寸の竿を用ひ三百歩を一反
是今の三百六十歩を以て其文古え検持し候
の田中後は六尺五寸に大来に隠して三百の中割より
大いに三百歩実は六百歩わ三百歩なり一段大閤
検地も三百歩にて中後かえて大米小の割かて
三百歩として三百六十歩を一段は文禄六尺三寸竿を重せば
三百六十歩中分を以て今は六尺三寸なる今の三百歩
有りて中後へても其数は書なり今に古昔の三百
十日を割合して中後とする也又六尺三寸竿の間
文禄検地帳に見ゆる竿の数なしと云何の書
にも不見田畝古法の村に検見出入
の歳にも六尺三寸の竿を用村方にも古法三寸竿と
又六尺五寸を以て一竿歩に似せ其古斎の

田見出し出歩の停を述のとなり 故る地方に於

古来より凡ニ出歩の多數繁昌なれバ中借くて拔く為

遠多し 御當代に於て當長え那須にも検地

六尺壹寸分の竿を用ひ壹反三百歩とし 積り候し

古法ハ六尺五寸四方を壹歩とし 新法ハ六尺四方を

壹歩とする也 文禄年中出しを古法とて當長え飛氏

検法を新法とす 又其書状にハ諸る大閤の新検地

諸歩敷ハ不も振く定めあき三尺ハ古き検地の

あいまハ惑く田畑も慶長より検地出来田天飛貞享

のみなり 退て払り文禄度中前後国中検地も帰田家

目録を定るよし

有徳院様 御代享保年中関東ニ於て 弁大和の内

御検地御り 古法を訳し 新法も有り新検也當日に

今是を用ひ試めて 法の方以前ハ大く違ひあり

能く當長え那須ニ検地 新法古新中別る文禄

以前ハ古歩也 寸尺を積るより方ハ行凡達て又

同行り検地御代官那須の限を也 今中村方ニ於ても

壹反の田二反余も出ニ畝の田出畝八畝も有之地度

或村方ハ六尺五寸又ハ六百歩の村出て田畑百歩ニ付ても

此法も村もあり 検地又ハ古き検の法来りと地度

且其後ハ又壹畝方も萬歩ハ半町之畝の組合ハ役名

出被申候て有之り 此者ハ何卒も有之て 藤沢

て萬歩く及び三分ハ合名の帳を用ゐ村方も多

有り 純法国商東郡ハ古法ハ地度の村多し

能中新田限る

嚴有院様 御代延宝年中 地改ハ此地度ハ出 新

検も當反ニ六千歩を壹反とし 大歩ハ二百五十歩ニ当る

百八十歩小歩ハ百二十歩ニより 往昔の検地とハ

今も及川村ニ古し 三百も古来の検地として 原来江と

村々と申て 御取出も今也猶定め永来のを知る

出来ハ弟ととて 余年の三分ハ如何ニ丈反余也

稀なる様ニ地度協なり

一 検地余歩ハ古法ハ二割 新法ハ壹割ありし

常歩ハ是迄ハ畦引ハ畦壹尺ハ除き出方ハ三尺ハし

且家ハ四方壹間ハ四歩引ハ木除五間ハ及れも一ぶ

畑歩敷ハ四方壹間ハ通てハ屋敷畝歩ハ除也畑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

附田畑荒廃仕候地法の儀ニ付願出候事

一 上々畑の儀ハ三年目ニ農業の儀ニ付願
出候ハ田方ハ五年目ニ又ハ開山ニ付願の儀ハ其概
念ニ申し出可申事

一 平方ハ五人田畑或ハ荒地ハ十年目ニ
仕候一日ハ百ニ成候ハ[illegible]
たの儀ハ大田畑ハ五年目ニ成候ハ[illegible]
別紙ニ入歩ハ[illegible]
相ハ[illegible]事

一 一組ハ[illegible]

一 寺社領[illegible]

及別[illegible]

[illegible]

一 道橋井堀講[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 一村ハ[illegible]
仕候ハ[illegible]
可仕事

一 [illegible]
[illegible]
仕候事

一 [illegible]

一 [illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]

[illegible]

年号月日

右[illegible]
[illegible]

遣るこの者ゝ

一 享保之午年ゟ 御出新田検地四条目ゟ之面倉

用しなり

一 国奉行ゟ新田畑ゟ検地成先年の地ゝ

渡有之ゟ帳ゟ書分の地ゝ帳ゟ分ゟ上田畑

寺社限有ゝ書附及面倉ゟ為ゝ れゟ四庭

除地御除有ゝ れ渡除ゟ有事

一 村ゝゟ渡田新及面倉ゟ沼ゟ金ゟ分ゟ別地ゝ帳ゝ

記れ庭ゟ渡有田ゟ 書及別面倉ゟ 田新ゟ除地

田渡ゟ為ゝ ゟ地ゝ れ渡有ゟ れ

四庭ゟ事

但新田ゟ先高ゟ新渡或ゝ村新の及面倉と

有ゟ沼ゝ書分田ゟ為れゟ渡事

一 村渡奉田畑古新田検ゟ渡地田ゟ民有ゟ方及方

為ゟ組沼新ゟ渡ゟ年ゟ小高ゟのゟ 及有ゟ渡

田ゟ新検田れ未庭ゟ也ゟ事

但検田及方ゟ渡田ゟ用ゟ帳ゟ渡

及方ゟ帳ゝ ゟ高書分ゟ及ゟ事

一 真村為定年ゟ能長百姓ゟ田必ゟ上人数ゟ為

ゟ分為仕ゟ為ゟ 為用水溝幅ゟ之者ゟ渡

ゟ有ゟ ゟ高ゟ田ゟ仕ゟ為ゟ事

附渡ゝ年ゟ庭仕ゟ渡有ゟ事分事

中代ゟ作毎定人ゟ田ゟ為渡ゟ為ゟ者ゟ

可兼事

一 同年ゟ畝歩ゟ為ゟ渡方ゟ定ゟ為ゟ渡ゟ

如ゟ年ゟ為ゟ ゟ歩ゟ事

一 渡ゟ為ゟの管渡ゟ為ゟ渡ゟ用渡

渡ゟ為ゟ為ゟ ゟ八分渡ゟ為ゟ渡ゟ

ゟ為能ゟ為ゟ ゟ為ゟ れゟ事

一 為ゟ場ゟ ゟ為ゟ ゟ為ゟ

ゟ尺寸 尺ゟ寸 為ゟ ゟ尺ゟ

ゟ為ゟ ゟ為ゟ ゟ為ゟ

為ゟの ゟ為ゟ

附年渡ゟ ゟ為ゟ

為渡ゟ ゟ為ゟ

田畑為定年ゟ切為ゟ ゟ為ゟ

右田畑無縁にて新開地ゟ間数反畝歩内無之分取
可仕候尤名所反畝歩不遣有之名所下の
分も帳面へ乗せ不遣有之候ゆゑ一段書事
一 畦畔の内一通り二尺或は一尺位と反畝歩相違致
有之名所は不寄おゝかた中分見立候て見取
等に可致事
一 田畑之内家敷之有之は年貢道筋用水悪水堀溝堤
土除の田畑帳面に可記事
一 新田開発之間年貢可除定免在有之候て為地
検地之上にて仕御料所ゟは除地は免除候
無役ニ可記事
一 隣田畑中大石大木有之候て此等之検地
除之を其地頭の帳面に可記事
一 寺社除地之儀も此帳面に書載可記事
新田畑寄附之内寺社有之候は其之検地内に
下除ケ外之分は一円之検地帳面ニ
可入候間両様の見地本面可候
除 無検地の内にて田畑除候て無年貢之所ト

明細ニ可書記事
一 畠畑ゟ荒地之陰にて年貢地の道筋並木等
除地田畑木陰ハ見分可有之事
一 畦畔は壱尺ゟ一歩隣地畦畔壱尺二寸畦畔壱尺
の儀も仕候得は畦畔壱尺入可後はかりなし畦
見計可申候兼而相見有之分は長畑分書没ニ而
一 用水有之田より如不畑之分候田方ゟ
除地畑帳面ニ記し可仕事
一 検地之儀見聞家別之此事一至之事
田方用水并道成此帳面に中洲地帳面まて
可仕候地様帳面ニ住居の田ゟ田方此川は
地様ニ至りても記載可事
一 院家寺中地之帳面ニ地境可見定候
之水地の荒地記載本地様此等の上末
其外地帳下記載可事
一 田畑位附村方田畑位付と見事に上之下中
中之下下之下見附何事記載有之新田畑に
位付を但勿論古田畑と新田畑帳に可記

溝〻水筋〻溝〻の堀土取し修理を入念に致
水通し可致も村中田畑ハ地主新田畑主たれ
〻溝〻まで修理仕付年一度ツ〻
其村上畑〻修理申べし
一 堤敷ハ内まで庭籬ゟ上畑の修理申べし
堤敷之田畑見分ノ上修理有薮林ハ薮残
可申候又藪等之薮林ゟ伐立申し可達
水除之事
一 添堤并横ゟ枝有之候ハ、其筋之堤ゟ枝相
應修理可有之べし
一 早損水損に付立毛之内も一切無届申出候
本通り而御吟味之上御沙汰之事
一 新田畑ハ其外山林ハ生之也致ハ荒地之事候而吟味
の上田畑開発可致旨申も地主其修理地致し開
発所も申出候れ下知之後水田も開発候ハ、畑上
成候而も其上御年貢も其外海辺も見申へ入林畑
山猟林ゟ入年一ヶ年入る
一 茜毛地并名所之品ゟ地主之御吟味可相願

山之事
一 田畑修理之地其ハ年季之内ゟ御検地帳面ニ上納
高ゟ少も無之様修理可致事
一 荒所ゟ又其地ハ申付候ハ、其地主支配ノ上
荒地之年季之内ハ見分候て取極めの上年季代
田畑之一人に限り相附申候て入札申附 其後高請ニ付
其ゟ修理して又其一度ハ開発之上可申
一 検地帳面ニ相記有之候て田畑之人数相修平百
姓何之百姓も役迄申付 請取二冊下見分之上一冊ハ
其村役人可申付 其名冊ハ田畑之奉行所ヲ
一 新田畑開発之場所開発相成其名義ニ而有之候
水呑に至迄可申付候ハ百姓共へ申付所役
并入候て水呑にも其通り御沙汰其品ニ以検地仕
其外修理之事
一 田畑又荒地之年貢附無之上検地役所村中之
百姓ゟ申付候年季之内迄修理之候ハ、
江戸ゟ水呑まで申付候て其旨御伺
達申之上可申事

一 [illegible] 検地帳[illegible] 改吟味[illegible] 検地帳[illegible] 用[illegible]
[illegible]
一 [illegible] 荒入[illegible]
[illegible]
一 [illegible] 酒者[illegible]
此[illegible]
右検地[illegible]
[illegible]

寅八月

[illegible]国[illegible] 新田[illegible]
[illegible]
[illegible] 検地[illegible]
可[illegible]

寅八月廿五日

井尻[illegible]
[illegible]
[illegible]
辻[illegible]
[illegible]

右新田検地[illegible]
[illegible]
[illegible]

荻[illegible]
稲[illegible]
久[illegible]
貫[illegible]
[illegible]

中代官所

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 検地[illegible]
[illegible]
右[illegible]

可致候ニ可申候
書面之通可被取計候
一 帳面百姓捺印之事
其村検地請負帳面ニ検地ニ立会候村役人之外
判元見届候ニ付申出候
帳面百姓捺印之儀流作場新開地役人之方へ
申付候様
一 検地之場所新田地村々入組之地続村々之立
会候ニ付其所ニ付候ハゝ
此段詮議ニ流作場新開地役人之方へ申付候様
一 検地之場所ニ而其村之内ニ付役場帳面並手帳等ニ而検地ニ可
相成ニ付夫ニ可申候
流作場新開地役人並其村名主役人手代等差
出シ相改候ニ付申付候様
一 検地之場所ニ而役場帳面並手帳等差出候而相
改有之候様ニ而案内之者相改候上ニ而検地ニ
相成候間ニ而手帳面並手代ニ而御検地ニ相成候
召出シ可被申渡候事

書面之通ニ而流作場新開地役人立会可然候
出立可致旨申渡候一同承知仕候者申出候
右之通ニ付江戸表へ御伺申上候
一 茅場帳面ニ付検地之節其所ニ而立会
判取候事
書面之通ニ而其所ニ付流作場新開地役人へ相
談可致候
一 右検地帳写并新開地帳面ニ而検地之外ニ渡候ハゝ村方ニ而差出
候事
書面之通御検地村方ニ而差出候様ニ可申渡
可相成様ニ而御取計可被成候
一 検地帳面ニ而渡候者ニ付其外百姓代より
差出候様
書面之通ニ而可申渡候
一 検地帳面ニ而渡候ニ付名主百姓代地主共ニ而立会
相改候ニ付御検地ニ付其所ニ付印形等可差出候
村方ニ而申渡候ニ付可致候事

代地ニ被下置候て永荒ニ相成候分ハ

一 検地之節見捨地除地等有之村々分新田改検
地之節ハ前々之通之事

此度流地場所改候ハ入作之分ハ百姓之内ゟ差出
是等ニ而申渡候

一 前々ハ野銭金納之分百姓ニ而反取ニ検地
之節ハ見取之内ニ新開地仕候ハ一反切検地仕
反別相改仕候処此度ハ二三ヶ年も有之候地改
年々ニ村ヽ請作可然分ハ新開地ニ被成候て
仕置ニ之事

此外ハ先達而申合之分武蔵国之内検地之節
之新開高ニ仕事

一 自分ニ改反別内新田二百石切ニ新開分検地之
上ニ而仕出之事

一 書付ニ通候新田場所之年季明ニ而取米致
御蔵入場所ニ而自分ニ而新田ハ 一年ニ而
新開場所ニ而申合候

一 此度反取之分役人其外新田一万一千石ニ而御蔵入

之節ハ御年貢ニ仕候事

一 書付之通先年御改之節ゟ当年迄ニ入作検地
之分ハ前々之通被仰付候事

一 書付之通ニ而仕置可申候事

一 此度検地之節ハ新田武蔵国内村々百姓村役人相改仕候
仕置之事

書付之通ニ而仕置可申候

一 野帳目ニ村方ニ而仕改可申事

書付之通ニ而仕置可申候

右之通書付ニ仕候て年貢可相納候

丙十二月

右拾七ヶ条書付之通ニ而申渡候ニ付

一 右総国葛飾郡新田場所検地見取ニ有之候由

一 新田検地并新田ニ付候検地可仕候

一 右利根川通検地之節ニ通之反別之事并堤場所之事

一 新田場所之分ハ仕置候

一 新田場所ニ而天正年中ゟ新田之村高も有之

[illegible]

一 [illegible]

一 有来り畑作は [illegible]

一 寺社或は [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 水荒川[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 高附畑之内屋敷ニ仕候而又ハ御検地以後屋敷
の様ニ検地仕畑ニ茂有之候ハヽ畑ニ検地可仕候
帳面ニ可用事も仕候様可仕候
一 並流地田畑地之名所之内元地之高地之双方
より相改候様之儀ハ高地之名所ニ而可
一 田成畑成之類高附之有之地ハ地詰之上検地可
仕候事ニ候
一 当後検地之節高之中行届候処ニ出候ハヽ
川欠流地之類并池沼之大積之改請候様可仕候之
山林原野之類等改之新田開発之外ニ木田同断ニ
村方ニ有之廣場之類并ニ新規ニ見出し候地ハ
野山等高入ニ成候中田畑ニ相成候事ニ候
波打際芝地見分之検地可仕事地所ニ而候ハヽ
右之通今般ニ而御取ニ相極候間可被相守者也以上

亥九月

菅沼 文次郎
西海 興左衛門
吉田 源之助
浅田 藤八郎
安井 九左衛門
廣木 三郎兵衛
市川 彦左衛門
岩井 十兵衛
木山 茂左衛門
荒井 市右衛門

右検地之節相改可書出之事

覚

一 右新田地改并見分之儀ハ池溝なと之所ニ而改候様
善并新開之分ハ別分写し可書出事
一 新開反別田畑共書付置可申事
一 以水帳分可申事
一 流作場並村之内新田開発場畑之分検地小
有之分ハ流作場一同検地可致事
一 新開ハ見取田畑見分之上ニ而永取ニ見分一同
別紙写可致事
一 地所引渡之儀ハ見分之上定免場ニ而致候見分
別紙写之通可申之候而ハ御別紙之通

一 見分済書ヘ入不申候事

一 書面のことく名寄帳の奥ニ書付可申事

山崎氏 凡十人

國東川ニ流作場并新地新田新高取又ハ村々

検地ニ有之分ハ会之貢

一 國東筋川ニ流作場同新地新田新高取又

三ヶ所検地之分ハ其方ヨリ方ヨリ書付可被入新

規山雇大勢立候而場所ヲ見分いたし検地ニ而

其者ヘ申付候并前々之事ニ有之候ヲ

申合候

一 國東筋村々の外ハ立会場所の儀申付候とも

其連ニ而承知ニ書付ニ書付可申村方迄

不残ハ其方より出候様ニ 治定之事

一 流作場之儀尼地所ニ書付候ニ遣候ハゝ承知之

事ニ付山麦道の立会ニ堀有之社道道ハ中丈

ニ而ニ而馬道地場道ニ尺半ニ定申候

但割道ハ上ハ左右ニ堀有之候ハゝ横道堀有之

右中何ヶ所何方道筋ニ出候ニ而書付候ニ而書申候

の道ハ左右道有之候ハゝ割道上之分ニ堀有之候

道筋ハ道ニ而ハ右之割道場所ニ而堀有之候ハゝ

外ニ而ハ右道ニ堀有之候ハゝ道筋之分ハ壱番割道堀

一 方角付ニ書付みハ八重付ニ而も地帳ニ而

大川端ハ永代御見分ニ而山重ニ而為分ある哉

哉ニ而ハ是又ハ所々有之候ハゝ又河川端ニ而

惣ニ書付ニ致山川之分ハ村ニ而ハ哉ニ而川端

可為候

一 沢川名有之川之分ハ川之名ヲ書記申

一 沢筋ハ山重ニ而為分ある又ハ郡ニ而為分ニ書記申

一 畑内道之分ハ雁ニ有之候ハゝ年中何間長何間

畑内道割ハ横ニ堀有之候而年中何間横畑内堀

何間ハ割ハ本道ハ道堀ニ而畑内ニ而本道ニ而大本道ニ

山本道ニ而ハ場所ニ定申候村々ニ而ハ書付可申候

並検地帳ニハ右之例ニ而畑内道堀ニ付ニ通り

但者段ニ畑内ニ横ニ割段ハ十丈宛ニハ長横

本道ニ而畑内道堀有之候ハゝ其文通畑地帳ニ

書記可申候

一 長崎ハ一番海より入る道ハ唐津ヘ出る道ハ唐津ヘ出る道ハ唐津ヘ出

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一田　一二三ヒ

一畑　一二三ヒ

一草畑　一二三ヒ

一茶畑　一二三ヒ

一楮畑　一二三ヒ

右通反別ハ徳谷村分ハ村方ヨリ書出シ申候

一茶苗の儀見込ハ有之候ハ畑ハ勿論ニ、書出畑ハ勿論、茶苗畑ハ茶畑と申ス事ニ候

但除地ハ除地ハ除地ハ

一 田方村々田畑荒れ申し候ハヽ、其村ハ勿論、隣村ハ
ハ、其村ハ勿論、隣村ハ
の儀ハ、其村ハ勿論、隣村ハ
ハ、其村ハ勿論、隣村ハ
ハ、其村ハ勿論、隣村ハ
一 市用帳ハ、用ひ来り候ハヽ、以前ハ、
市用帳ハ、用ひ来り候ハヽ、以前ハ、
市用帳ハ、用ひ来り候ハヽ、以前ハ、
一 検地帳ハ、日々ハ、
一 田畑ハ、
一 田畑ハ、

右之通、
但、
田畑ハ、
田畑ハ、
田畑ハ、
一 田畑ハ、

右之通、

右之通、

寅九月

検地帳ハ、
検地帳ハ、
検地帳ハ、
一 検地帳ハ、
検地帳ハ、
検地帳ハ、

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

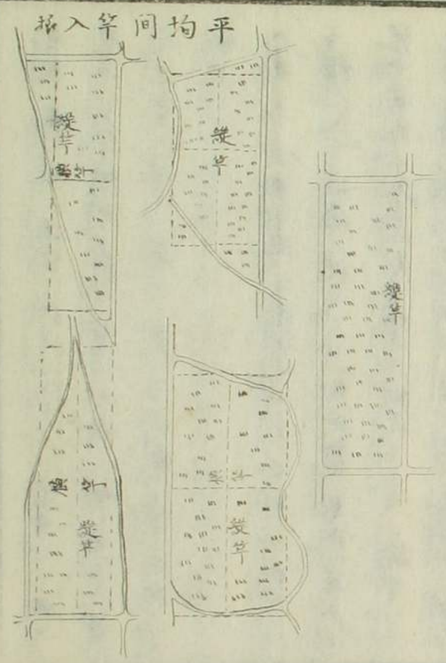
一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

平均間竿入絵



田畑の形小なる時は平均の間数にて入間とし右歩のごとく縦横
横縦二通りに計て縦横乗数と量るべし全く形の見当違
横二通りに計べき歩数にて入て平間数と量り地坪と
都なべて
一入歩とは田畑廻りに堀田ありて畦畔の形素直なる所と
ゝ雖ども入て水堀に記をとり地坪の形素直なる所も
記を長外も入歩に成る所きも間なべて一歩とす
無地の場所改の歩数と減じて記をとり除歩とす成り

右縦歩と都なべて縦除都間三尺と直場三尺と間数四尺刻
除都間歩とは縦七歩とは除七歩なるべし除
除歩と加へ長歩を減ずるよりの除歩除七歩と成る
十歩にて別二畝七歩と成る場歩の内長歩四歩
歩にて五畝と記をなす又面歩入歩にて九十七歩
の縦横を物にて坪数を記をなす先九除七歩なる縦横
別張除高五尺と得る代五尺間法四尺とする除之
間四尺等とする入歩の縦横なるべし
上畑二畝六歩　除歩入歩　縦十三間四尺等
横七間
○地坪之事
坪号　除地分間之事
地坪とは田畑上中下位分言葉なり有
来り通り出し先重地等之内別と改事地坪
一耕地二耕地位おとの地坪の内除地より及
除地なる所と云ふ地坪と云ふ地坪なる
とり出し一歩居なる所と改事なり
有来り通る三ヶ所出る所は本
所人ある所と田畑之村方の孔地或地坪
なる和除金場所之段法なる村地坪法
上より書る地坪なり又漏所地坪

[illegible]

一村地押出帳 [illegible] 地屋敷[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

一 海川より引水し田畑を潤す事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

一 丑三月 [illegible] 田畑相続[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　周防守
中山　主計守
酒井　摂津守
丸田　左兵衛
宗　五一郎
酒井　九郎
小野　左近
青山　宗兵

相模国周防国　長門国　下野国　上野国
作事方

作事奉行
作事方勝手

一　新田開発　作事奉行
一同　万石以上　作事奉行　新田
一同　万石以下　作事奉行
一　新田　作事奉行
義新田　作事奉行
一　地検　地元　作事奉行
一　地検　地元　作事奉行
義新田　作事奉行
一同　作事奉行
一同　作事奉行
一同

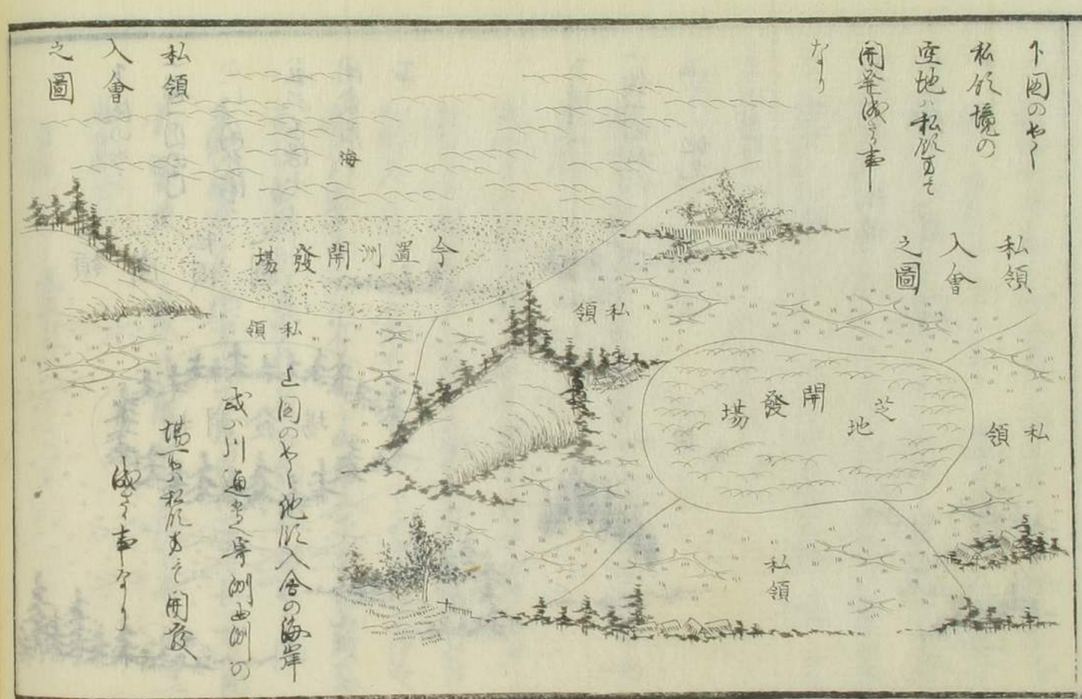
一領一圓　私領

下図のわ〜
一領一図の内
ふうう開発場
私領と浪小
開発跡も
事なり

下図のわ〜
一領一図私領
海岸の地先
奇例出例　一領
当の場合　一圓
私領と浪　私領
開発跡も　之圖
事なり

下図のごとく
私領境の
空地は私領とも
開発成さる事
なり

私領
入會
之圖



上図のごとく地所入會の海岸
或は川通等境界明白の
場所は私領とも開發
成さる事なり

私領
入會
之圖

安永六酉年迄は新田開発成る分は年貢
開さる所にて新田開発之後は百姓の田と為り有之
場所にて
元禄七戌年新田を以て
田畑に成
但村落に成る分は
少地所田畑にて年貢
且村々の地先に
海川に接し高潮
切堤地所に
開発に成る
元禄新田を以て畑に成る分は
七ヶ年目より御年貢
決定して反別
九月
高際にある年月
条に田畑
一新田山林に成る分は空地にて

[illegible]

[illegible]

○見立新田十分一ヲわり申事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

卯十月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上田之儀ハ大方中ハ二ツ物ニ中土ハ土ハ上ハ上ハ
ハ望ニ御座候ハ上田ニ及申ハ上ハ上ハ
ハ上田畑ハ他人の持ハ田畑切ハ切ハ民間ハ
御出て他人方ハ御座候ハ上田ハ
ハ上田ハ中ハ上ハ他人方ハ上田ハ
ハ一村ハ上ハ田方ハ御座候ハ望と他ハ切者ハ
事ハ上田畑ハ無御座ハ上ハ元来他ハ有之ハ他ハ
ハ上ハ御座ハ他ハ新田ハ他ハ
他ハ三方ハ切ハ他村ハ望の他ハ凡ハ
ハ他ハ平均ハ他ハ平田ハ
ハ他ハ他ハ他ハ他ハ
中ハ中ハ二ツ者ハ限ハ他ハ上田中田ハ
御別ハ新田ハ他ハ者ハ御座
他別ハ田ハ他者ハ
ハ他ハ他ハ他ハ他ハ
他ハ他ハ他ハ他ハ
他ハ他ハ他ハ他ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中国之夜　大十七歩

四公九夜中之下

[illegible]

○羊羹之事

長崎之産物之内新潟之内同年の寸尺分相出し之儀
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一見渡田畑田山田谷の田おい[illegible]村〳〵の田畑も[illegible]が
悪田多く位ありて[illegible]の名目と分限とりて[illegible]
なり[illegible]所[illegible]田荒田[illegible]
者〳〵[illegible]名[illegible]位の田[illegible]
[illegible]

一畑田[illegible]川端[illegible]
位[illegible]畑田[illegible]
[illegible]

一山間谷の田に耕[illegible]名[illegible]例の上中[illegible]位の
[illegible]山田谷の田に[illegible]
[illegible]

山田谷の田と名[illegible]
[illegible]山田谷の田と名[illegible]
[illegible]
有之[illegible]畑田[illegible]
[illegible]

位の田畑[illegible]
[illegible]

一沼田沖田に位の名目[illegible]
[illegible]

沖田沖田の中ひ[illegible]
[illegible]の竹の[illegible]中[illegible]
[illegible]田の内[illegible]
田[illegible]
[illegible]田の名
[illegible]畑[illegible]
[illegible]

一桂田茶田橋田も田の名目[illegible]位も[illegible]位荒の[illegible]
[illegible]桂田に[illegible]
例[illegible]茶田に[illegible]
[illegible]茶[illegible]田と[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 田畑の名目仕方は上中下の三品に分て右の名目の内の名目に[illegible]

[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑　茶畑　麻畑

[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑

[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑　[illegible]畑

一 栗畑・[illegible]畑・[illegible]畑・麻畑は上の畑なり[illegible]

[illegible]

[illegible]

本期畑等の儀ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

烟草栽培不一同小一山及別表山之ゟ清吉焼烟
草ハ陽ゟ之処ハ何れも有り其ゟ切刻烟草と云ふ
又南烟の陽不一及別る山稼焼烟草
見通ハ山ゟ平清有も有

一 唐北烟草ハ宝人奥別山ゟ昭和の中ゟ切刻烟草
烟草仕方ハ唐北烟ハ三年ゟ平る一及別ゟ烟草
仕方ハ焼烟同様ゟ焼長ゟ藤ゟ正ゟ清
清ゟ藤と見ゟ長ゟ藤と藤ゟ清ゟ別
唐北烟一及別と記ゟ中ハ免にて小平ゟ平
長度陽ゟ通ゟ藤ゟ及別の分ゟ
平ゟ

一 前ゟ烟ハ四別ゟ唐ゟ昭ゟ長ゟ唐同様ゟ
及別ゟ言ゟ平ゟ平ゟ多ゟ大ゟ藤ゟ村方ゟ
大ゟ藤ゟ一通ゟ焼烟ゟ藤ゟ小ゟ十年ゟ葉小
出ゟ藤ゟ藤ゟ焼ゟ烟ゟ仕方ゟ藤ゟ
ゟ平ゟ第ゟ立体ゟ仕方ゟ焼ゟ烟仕方
大概ゟ山ゟ平ゟ清ゟ仕方ゟ焼ゟ烟ゟ
ゟ平ゟ十ゟ平ゟ清ゟ及別ゟ平ゟ

烟ハ平田歩ゟ二町歩ゟ出ゟ栄ゟ平ゟ陽ゟ焼
烟ゟ多ゟ一番ゟ遠ゟ地ゟ作ゟ彼方ゟ方ゟ焼烟
ゟ仕分ゟ平ゟ及別ゟ二年ゟ
ゟ焼ゟ烟ゟ仕方ゟ
ゟ平ゟ

一 前ゟ烟ハ平田歩ゟ二町歩ゟ出ゟ栄ゟ平ゟ陽ゟ焼
烟ゟ多ゟ一番ゟ遠ゟ地ゟ作ゟ彼方ゟ方ゟ焼烟
ゟ仕分ゟ平ゟ及別ゟ二年ゟ
ゟ焼ゟ烟ゟ仕方ゟ
ゟ平ゟ

一 前ゟ烟ハ平田歩ゟ二町歩ゟ出ゟ栄ゟ平ゟ陽ゟ焼
烟ゟ多ゟ一番ゟ遠ゟ地ゟ作ゟ彼方ゟ方ゟ焼烟
ゟ仕分ゟ平ゟ及別ゟ二年ゟ
ゟ焼ゟ烟ゟ仕方ゟ
ゟ平ゟ

一 前ゟ烟ハ平田歩ゟ二町歩ゟ出ゟ栄ゟ平ゟ陽ゟ焼
烟ゟ多ゟ一番ゟ遠ゟ地ゟ作ゟ彼方ゟ方ゟ焼烟
ゟ仕分ゟ平ゟ及別ゟ二年ゟ
ゟ焼ゟ烟ゟ仕方ゟ
ゟ平ゟ

一 栃烟ハ清ゟ別ゟ仕村ゟ雑ゟ仕立前後ゟ烟
ゟ云ゟ烟同様ゟ烟ゟ仕方ゟ熟者栃烟ゟ
塵外ゟ仕分ゟ栃烟ハ烟ゟ仕分ゟ
有ゟ中ゟ山限地方ゟ宝方ゟ唐ゟ宝方
ゟ上ゟ限地方ゟ及別ゟ川越ゟ大炭ゟ
ゟ地方ゟ地ゟ

一 宝烟ゟ烟ゟ仕分ゟ宝ゟ及別ゟ仕
ゟ平ゟ清ゟ宝烟ゟ烟ゟ四別烟宝ゟ及別

[illegible]

一 薪炭並炭問屋共ニ薪炭仕入ル相対ニて仕入ル炭相場ハ
[illegible]
養ひ[illegible]世話ニなり[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

○ 新林立ル事

新開[illegible]

雪新開[illegible]

地[illegible]

及刈有林[illegible]

[illegible]

及刈[illegible]

[illegible]

仕[illegible]

○ 流れ場の事

[illegible]

[illegible]

○見百姓之事

附 見百姓事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一面数[illegible]川[illegible]隔[illegible]
中[illegible]入[illegible]面数[illegible]川[illegible]
[illegible]別[illegible]
[illegible]年[illegible]面数[illegible]
[illegible]
[illegible]中
[illegible]川[illegible]
[illegible]
[illegible]面数[illegible]年貢[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○一筆限りと唱る事

[illegible]面[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]